

事業名	国民健康保険事業奨励費			調査番号	27
細事業名	国民健康保険へき地医療確保対策事業費補助金	財務コード	170406		
担当部課室	福祉保健 部	国保援護 課	国保医療 担当 (内線)	3266	

事業の概要

実施期間	始期 S50 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(市町村(保険者))		
目的	だれ(何)を対象に へき地等の国民健康保険診療所	その対象をどのような状態にして 財政支援による健全な運営が確保されている	結果、何に結びつけるのか 全ての地域の県民が日常生活圏内で、必要な医療を受けることができる医療提供体制の確保
内容	○事業概要 へき地等の国民健康保険診療所のうち、医師確保困難、診療人口僅少等による不採算施設への健全な運営を確保し、地域医療の充実を図るため運営費の一部を助成する。 (1)補助先 国保特別調整交付金の交付対象市町村(保険者) (2)補助対象経費 国民健康保険直営診療所の運営費 (3)補助率 過疎・準過疎地域は1/3以内、その他の地域は1/4以内 (予算計上分)		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	不採算へき地等診療施設補助数	目標	6	6	6	5	6	6
		実績(見込)	6	6	6	5	6	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	へき地等診療施設数	目標	10	10	10	10	10	10
		実績(見込)	10	10	10	10	10	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		13,794	18,012	17,509	26,288	29,628	29,605	36,007

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	県内に10箇所あるへき地等診療施設が継続して運営されており、全ての地域の県民が必要な医療を受けられる医療提供体制が確保されていることから、意図した成果をほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県間との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	不採算のへき地診療所等の運営費を補助することで、県内の地域医療提供体制の確保に寄与することができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	無			

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。